

～新宿駅周辺地区協議会～

平成 21 年度 第 2 回 全体会

平成 22 年 3 月 16 日(火) 14 時～

角筈地域センター 7階会議室

出席者:廣川、村中、武田、井上、白倉、板本、森、城、岡、須磨、田中、森田、島、北村

1. 会長挨拶

省略

2. 事務局挨拶・趣旨説明

省略

3. ワークショップ

今後の地区協議会の活動について検討し、分科会再編を含めた 22 年度の「案」をだすため、4つのグループに分かれてワークショップを実施した。(1グループあたり4人+事務局メンバー1人)

前半はグループごとに、設定されたテーマに基づいて考えてもらい、後半は自由にテーマを出し合い議論してもらうことにした。(○=課題、●=解決法)

1班(森、島、田中、山田)

<前半>テーマ:「地域交流促進に関すること」

○世代が違くと、なかなかつきあえない…。

○子どもや高齢者で何か交流できないか

●お子さんや高齢者には優しい言葉をかける。老人が子どもに教えられる機会があれば。

○イベントに人が集まらない

○人集めには宣伝が必要

○どこでいつ何が行われているのか多くの人に知ってもらうことが重要

●近隣に口こみで知らせる。老人会席上で説明する。

○子育てをしている親の目線に立った支援が必要

●幼児を対象にしたお遊戯の会などの実施。

○中高年向き体操・スポーツ教室で中心になる人がほしい。

●人を見つけるにはどうすればよいか？

○外でスポーツする場所が中央公園にはない。

●スポーツを通じて幅広い年齢層の集まれる場所・種目を考えてみる

○「まちづくりは人づくり」が大事。環境問題は目に見える建物、道路、景観と目に見えない「人づくり」が大事です！

●人づくりで考えることは、「目があつた時お互い笑顔が一番(莫逆の交)」という言葉があり、

相視て笑い心に逆らうことなしとする。和が大事である。

○人の出入りが多いので、ご近所の方との関わりがない。知らない。

○地区協働から他団体への積極的参加、他団体会合、行事へのオブザーバー参加を。

- コミュニティショップのようなものがあればいい。
- 年齢に関係なく、人々が集まって、楽しめる場所があるといい

<後半>

- 住民は地域に親しみを持つためにはどうすべきか
- 地域の由来、歴史を知る

○子ども論語の会

- 論語教室を開く
- 子どもと高齢者が楽しく交流

○顔が見えて、話ができる地域団体の創設

- 地区協働委員会は出席者が限られている。多くの人が出席できる方策はないか。

○開発するにあたって、地域の情報をもっと公開してほしい

- 角筈出張所で地域に関する開発情報を紙面で知らせる
- 再開発で高層ビルを作っても、人口減少化の影響があるのではという意見もあるが。
- 学識経験者の意見を聞く場を積極的に何回も開催する

2班(白倉、井上、廣川、須磨、川内)

<前半>テーマ:「ネットワーク作りに関すること」

○同じような団体が沢山ある

- 団体の洗い出し

○団体ごとの活動が決まっていて、一般の方が入ってこられない

- 盆踊り大会(夏の中央公園)に地区協として協力。青少年育成
- 餅つき大会への参加
- わいわい広場に参加
- 中央公園春まつりへの参加

○周知してもらえない

○情報が入っても、なかなか理解してもらえない

- 一人ひとりの声かけ
- 参加してもらえるような、インパクトのある宣伝

<後半>

○角筈アパート跡地の有効活用

- みんなの声
- 子ども高齢者の遊戯場

- 物価が高い
- スーパーに活気がない
- 安いスーパーを誘致
- 元のスーパーに戻る(サンデー・マート)

- メンバー数に比べ、参加人数が少ない
- やる気のあるメンバーで、やる。

3班(板本、城、岡、北村)

<前半>テーマ:「地域・文化資源に関すること」

○高層ビル群と住宅地

●地域内をゾーニングして※住宅地、商業地、繁華街などそれぞれの特徴を生かして、住みやすい、働きやすい、遊びやすいエリアを作っていく。各々が独立していかまわらない。

- 文化・地域資源って何？
- 内の人たちと情報共有できてない
- 内側にいる人とは情報共有
- 外側へいる人へは情報発進

○元気館の周りで開催されている講座が多いので、この地域の講座に気軽に参加したい。

○地域資源(オペラシティ・区民ホール)利用について

●地域の施設(学校、区民ホール、敬老会館)に出張して講座・教室を開けるか

○昔の浄水場を知る

○過去(歴史)を知る事※なぜ浄水場がなくなったの？都庁舎が移転してきた理由は？

○地域再発見のマップを作る

- 地域のことを昔から知っている人に話を聞く
- ツアーを年数回する
- ツアーで見つけたことの発表会をする

○公園を区民に使いやすくしてほしい

○中央公園をもっと親しんでほしい

●中央公園を使ったイベントづくり

<後半>

○子育てしやすい環境を支援する

○子どもを育てる環境を良くするために

○子どもの居場所づくり

○引きこもりの老人を外にだすには？

○高齢者が安心して住めるために

●老人給食

○駅周辺地区は地区協でひとまとめにしないで西新宿の町会連合会と駅東西の繁華街、高層ビル街に分けるべき

- 住んでいる人(住民)主体でよい。商業地、繁華街は地区協にはなじまない
- 苦心して活動している割に“井の中の蛙”になってはいないか
- 区からの要請で発足した割に地味な団体
- 各町会と行事などでコラボレーション
- 交流・発進のさらなる重要性

- 地区協議会の広報が不足している
- 委員の出席率をよくするには？
- 分科会が多すぎる
- 活動できる人をお願いする
- 分科会を2つくらいにして、中で実行委員会形式にする

- 再開発は地域力をなくす
- 町の道路、特に裏通りの安全確保。子ども、高齢者が危ない！！

4班(武田、村中、西江、大館)

<前半>テーマ:「地域の安全安心に関すること」

- 食品の安全について。薬品がどう使われているのかを知りたい
- 食品で安いものを求める人が多いが、安全かどうか心配である
- 勉強会、講演会をしてもらう

- 犯罪をなくすためには。地域の横のつながりをどうしたらよいか？
- それぞれの町会がすべてメールで知らせる組織ができればよい。

- 最近子どもに対する虐待が多いが、この地域ではどうなのでしょう？
- 一人暮らしの老人の安全安心をどうすればよいか？
- 道路が狭いので、地震の時の逃げ場所が分からない
- 災害時の地域の意識を高めるにはどうすればよいか？
- 高層ビルに住んでいる方々の災害時の動きをだれが確認するのか？
- どんどん高層ビルができていく現在、大地震が起こった場合、どんな状況が起こるか不安である。
- 現在学校の門は表も裏も閉まっている。学校の体育館に避難したくても、入れない。解決するためにはいつでも入れるように
- 淀橋町会では芸団協との話し合いで、淀橋第三小学校を避難場所にすることにした。
- 西新宿小学校避難所運営協議会が確認する

<後半>

- 公募委員を増やしたい。多くの人に参加してもらいたい。知ってもらいたい。具体的な活動をする人を増やす
- 地域情報誌の原稿に毎回苦慮している。公募でメンバーを募ってほしい
- 役員改選では古い人は降りて、新しい人がなってほしい
- 古い人では活性化しない
- 新年度以降、順次手を打って
- 昼のグループ、夜のグループに活動を分ける

○3月2日の工学院大学発表会を念頭に、西新宿3, 4丁目をはじめ地区協議会エリアのま

ちづくり具体案を3～4年のうちにだしたい

○新国立劇場、東京オペラシティをユーラシア大陸指折りの舞台芸術中心拠点としたい

●まちづくり部会をはじめ、いろいろな組織を紹介して一步一步進めたい

○センター管理運営協議会と一緒に(わいわい広場、旅行など)地域交流会が活動できないものか

●センターも地域交流会も同じ人がやっているようなので、一つにしたらよい

○地域交流会の催し物の参加者が少ないのはどうすればよいか？

●地域交流会を認知してもらうためにも、人に来てもらうのではなく、こちらがみなさんのところに行って交流し、地域交流会を知ってもらう企画をヒンパンに行う

○芸団協に協力してもらって楽しいイベントを増やすことはできないでしょうか

○何かイベントを開くにしても、人集めが大変です。良い方法はないでしょうか？

●価値観が多様化しているのでそれぞれの年代がどんなことに興味を持っているのか調べる必要がある

#### 4 事務連絡

省略

#### 5 次回全体会日程

日時:4月22日(木)14時～16時

会場:角筈地域センター8階レクリエーションホール

※なお、全体会の前に役員会を以下の時間帯で開催します

日時:4月22日(木)13時～

会場:角筈地域センター会議室 A